



2022.04 vol.25

協力隊通信

家財 綾
加藤 絵美

3月13日、町民総合センター「あ～す」にて、飯豊町地域おこし協力隊活動報告会を行いました。昨年より隊員が2名増えて4名になり、なんと来場者数も2倍に！後藤町長をはじめ、地域の方々など60名もの方々にご来場いただきました。

当日は、各隊員の活動をまとめたパネル展示を行いました。加えて、1時間の協力隊トークも実施。高橋企画課長が進行を務め、和やかな雰囲気の中で「飯豊町のことが好き」、反対に「ここがしんどい」などいくつかのテーマを設定して話しました。町民の方は、移住者が不便さを感じているのではと思われているようですが、隊員は買い物や交通などにさほど不便を感じていません。ただ、雪の多さは、慣れないため大変だというのが正直な思いです。除雪の仕方などは、地域の方々に教えていただき、助かっています。

報告会后、皆さんからたくさん感想をいただきました。感想をお聞きし、私たちが飯豊町の暮らしを楽しみながら活動していることが伝わったように感じました。また、そのことが町民の方々にとって改めて飯豊の良さを見直す機会になっているのかと思い、とても励みになりました。

卒業予定だった家財隊員は、来年度も継続することになりました。令和4年度も4名で、町民の皆さんと近い距離で頑張っていきたいと思えます。いつでも活動に関するご意見や感想をお待ちしています。活動報告会に関心を持ってくださいました皆さん、本当にありがとうございました。

報告パネルは、町内に展示予定です。日時や場所などについては、町のホームページやフェイスブックにてお知らせします。

◆来場者から頂いた感想の中から一部をご紹介します

- ・日頃なかなか話すことができない協力隊の方々の活動などを知ることができました
- ・協力隊の皆さんがすごく飯豊町を好きで、よりよい町にしようとそれぞれ活動していることが分かりました
- ・町外者から見た町の良い点、欠点など町民にとって、あらためて感じられること、考えさせられる所がありました
- ・若い地域おこし協力隊の4人がすごく生き生きしている姿に元気をもらいました
- ・小中学生と協力隊の方々が話せる機会があればきっと町への愛も深まるだろうと感じました

